

## やましん歌壇掲載歌<第21回>

		平成26年3月~平成31年4月	令和1年5月~
短歌		H29年9月:帰国せしパリの友との語らいの	R3 年 11 月:一条の縄で括られしんと立つ
	掲載短歌	話題いまだに原発震災:阿部京子選	タ光の射す墓じまいの石(*):大滝 保選
		H29年9月:草花を巡りて出で逢ふ酔芙蓉	R3 年 12 月:冬立ちて霜の朝の蜘蛛の巣は
		口遊みけり「風の盆恋歌」(*):井上菅子選	星をかたどり過客を癒す(**:黒田氏の写真):
		H29年9月:久々に友と語らふショットバー	佐藤幹夫選
		カクテルグラスに汗の伝ふる:大滝 保選	
写真短歌(*)& 共同制作の写真短歌(**)	*:写真も短歌も自身の作品**:他人の写真に自身の短歌	日揮㈱勤務の頃、高橋治の小説「おわら風の盆恋唄」に刺激を受け、越中おわら風の盆に写真撮影に出かけたことがありました。Uターン後、山形市野草園で撮った酔芙蓉の写真にこの短歌を詠んで写真短歌に仕立てました。	
作	短歌	下記の写真短歌の短歌を含めて86首	下記の写真短歌の短歌を含めて108首(令和7年8月まで)
	写真短歌	38作品(自身の作品:37+共同制作:1)	77作品(自身の作品:51+共同制作:26)